

名戸ヶ谷ビオトープだより

第 74 号 2018 年夏号

<http://nadogaya-biotope.org/>

名戸ヶ谷ビオトープを育てる会 発行

発行責任者：篠崎 将 Tel/Fax 04-7173-6353

春の生態調査

2018.6.13 (水) 9時～10時半 気温 20℃
朝から気持ちの良い晴れでまざるの陽気となり、篠崎さんほか 4 名が参加しました。A、B ゾーンで捕獲網を持って調査を開始しチョウ、トンボが飛びまわっていました。

鳥類はスズメ、ムクドリ、ヒヨドリなど少なく他のものは確認できませんでした。

名戸ヶ谷小勤務の高橋さんが、児童教材用に捕獲したアゲハチョウを虫かごに入れて学校へ戻りました。全て終えた後の帰りぎわに、

アオダイショウがトイレ脇の足洗い場脇をのっそりと這っていきました。当日の生きもの確認は 56 種で昨年より増えていて生息環境は問題なしと思われます。



調査中



アオダイショウ

ハイケボタルの観察会

今年は 6 月中旬から 1 週間ごとに 3 回実施しました。4 月 21 日に松清さんが飼育していたハイケボタル幼虫、約 125 匹を A ゾーン柳の木付近の水路に放流しました。2 回目は月あかりや、風もなく良いコンディションで過去最高の 6 匹確認でした。特に柳の下の水路脇で最終日まで発光が確認され、明るさが遮断され適度な環境であったと思われます。

特に最終日は、多くの近隣住民の父兄、児童が参加し全員がホタルを観察できて、喜ん

で帰りました。昨年に次いで放流地の生息環境は問題なく、できればこのまま生息を願います。参加者の皆様有難うございました。尚、下記以外に観察者から観察報告メールがありました。

25 日 高橋さん 4 匹、

26 日 山村さん 2 匹、西野さん 5 匹

27 日 外川さん 4 匹

7 月 1 日 佐藤さん 4 匹

(藤平 三郎)

観察会日程

第 1 回	6 月 16 日 (土)	発光確認されず	参加者 1 名	内一般参加者 0 名
第 2 回	6 月 23 日 (土)	6 匹発光確認	参加者 1 名	内一般参加者 0 名
第 3 回	6 月 30 日 (土)	3 匹発光確認	参加者 18 名	内一般参加者 14 名

田の草取り、追肥 今年のコナギは強い

無農薬で例年より暑くなるのが早くコナギの成長に草取りが追いつきませんでした。6月16日に「カリ肥料」の散布、7月6日には「穂肥」の追肥を田んぼの面積に合わせて計量散布しました。もち田はなんとか除草できましたが、うるち田は間に合わず例年以上に元気に成長してしまいました。稲の収穫は大幅に減少しそうです。



田の草取りも結構ハードです

今年もスズメよけ ネットを張りました

7月22日に「うるち稲」の穂がほぼ例年通りに出ました。「もち稲」の穂は今年から千葉産の品種にしましたので、例年より2週間ほど遅く7月28日出ました。生育は順調で、スズメもこれを逃さずとおいしく実り始めた穂を食べに多くが集まっています。今年は8月9日にネットを張りました。



ネットを引っ掛けないように運びます



稲株の間で成長しているコナギ



きれいなブルーネットが光っています

ザリガニ釣り場の 渇水対策で「深場」を 作っています

ザリガニ釣り場の水が無くなるので、木枠で囲み「深み」を作りました。渇水時の避難場所です。

*毎日散歩している方から「木枠の中から網で小魚を捕っていく人がいました」との情報があり、とても残念に思います。



木枠をつくり、深場を作りました

*** 足洗い場の手動ポンプの弁が破損したので、ネットで探し交換しました。少しの水補給で楽に汲み上げられます。**



手作りの弁が破損しました



メダカを増やしています

土小から4匹のメダカを譲り受け、ポリ池で育てていますがだいぶ増えたので、メダカ池でも増やしていく計画です。（小笠原 智）



水温が30度以上にならないようミニスイレンとヨシズで日除けを作っています



メダカ池にも放流して鳥除けネットを張っています

*** 今年久しぶりに「イチョウウキゴケ」が確認されました（もち田4で）**



手賀沼船上見学会

2018.6.24 (日) 9時～10時 気温 23℃

あいにくの雨となりましたが、ビオトープ企画の見学会を行いました。21名の会員他家族で多くの参加者となり船で沼をほぼ一周です。

篠崎会長が用意してくれた資料を配布して、説明を受け、又湖上園専属のガイドさんの話もあり、皆熱心に聞き入っていました。

外は雨で周りも霞み、カワウが何羽も飛び交っていました。地元ガイドさんの体験談や昔はきれいな水であったとの言葉が印象的でした。帰りは、現地解散で湖沼付近を散策して帰宅した方もいました。有意義なひと時であったと思います。(藤平 三郎)



船乗り場



船上見学会の様子

ボーイスカウト柏 ビーバー隊の ザリガニ釣り

今年も6月になるとボーイスカウト柏のビーバー隊(4ヶ団)の皆さんが父兄と引率者に伴われてビオトープに来て、ザリガニ釣りを経験されました。裂きイカを餌にしたザリガニ釣りは初めての経験らしく、大きな声が飛び交い、楽しい一時を過ごされたようでした。(影山 賢三)



6月3日(日)の様子

- * 6月3日(日) 第9団 隊員17名, 父兄と引率者20名
- * 7月1日(日) 隊員16名、父兄と引率者約20名
- * 7月8日(日) 第7団(10:00～) 隊員約20名と父兄・引率者
第3団(11:00～) 隊員約20名と父兄・引率者

月例活動状況のお知らせ

今年の夏は過去例を見ない猛暑日が続きました。そんな中、6月から8月までの会員の月例活動状況をお知らせします。

6月16日(土)

会員11名参加し、水田の草取り、市道の除草、木道脇の植木の刈り上げや、Bゾーンのミントの刈り取りを行いました。



市道野草刈り後の風景



水田のコナギ除去作業風景

7月21日(土)

猛暑日が予想され、朝の集合時間を早めて会員15名参加してAゾーンのヨシ、セイタカアワダチソウの刈り取り、Bゾーンのミントの刈り取りを実施しました。ザリガニ釣り場は湯水してしまいました。



Aゾーンの刈り取り作業と刈り取り後の風景



ザリガニ釣り場の湯水状態

8月18日(土)

暑さ対策で朝8時30分より活動開始、会員10名参加で行われました。主としてBゾーンのつる豆の除去作業や、木村邸前の斜面の雑草の刈り取り等行いすっきりしました。(園田 廣満)



木村邸前の斜面の刈り取り後の風景



Bゾーン：つる豆の除去作業風景

才川壽麿氏が逝去

療養中の才川壽麿氏が去る平成30年7月16日（月）に逝去されました。享年80歳でした。謹んでご冥福をお祈り致します。

才川氏は「名戸ヶ谷ビオトープを育てる会」発足時から中心メンバーの一人として参画されてきました。特にAゾーンの休耕田を豊かな生態系の水田に育成するため、葦、蒲等の密集繁茂していた雑草を人力で排除し、各水田間の畔を整備し、各水田への水流路を定め、更に水田落水用の水路を水田周囲に新たに構築し、現水田の概要を作り上げるのに尽力されました。

また水田生物に優しいとされている「不耕起稲作法」の導入を目指して、同法発案者である岩澤信夫先生の事務所がある不耕起栽培水田農家（藤崎芳秀宅＝千葉県香取市）訪問し、先生から直接指導を受けました。現在の稲作法には随所にこの不耕起稲作法の手法が採り入れられております。（影山 賢三）



秋季行事予定

- 9月 ● 8日（土）：稲刈り
- 15日（土）：9月定例活動日
- 10月 ● 上旬：脱穀作業
- 中旬：秋の生態調査
- 20日（土）：10月定例活動日
- 下旬：秋の生きもの観察会
- 11月 ● 3日（土）：収穫祭
- 17日（土）：11月定例活動日

注）詳細の日時と定例活動の具体的な作業内容等については事前に担当幹事からメールリングにてお知らせします。

名戸ヶ谷ビオトープに来てみませんか？

交通：柏駅東口より東武バス（5番乗り場）「名戸ヶ谷行き」「新柏行き」で「名戸ヶ谷病院前」下車
面積：約4,400㎡ 湿性生物：57種 生きもの：161種（内、千葉県指定保護生物26種）

（2013年、年間を通じて観察した生きものの種類）